

高等学校 令和5年度 教科

公民 科目 倫理

教科： 公民

科目： 倫理

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 ～

使用教科書： (東京書籍『倫理』)

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】人としての在り方生き方や、もの見方考え方について理解を深め、情報を調べとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】人としての在り方生き方について多面的多角的に考え、表現する力、正誤を判断する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】現実社会の諸課題を解決しようとする態度を養う。

科目 倫理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会に対して興味・関心を持ち、自らの進路や興味・関心に合わせて、より高度な知識を身に付けている。	資料の読み取りや、既習事項の活用を通じて、その社会的背景や因果関係などを考察し、表現することができる。	対話的活動または問いの提示を通じて、関心・意欲・態度を示している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の方法	評価の観点			配当 時数
				知	思	態	
前期	人間の定義と考えることの意義について考察する。 人生における青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について考察する。 人間の知的な活動の特徴について理解させる。 心理学の考え方を理解し、人間の心の発達がどのようにして他者との相互作用の中で育っていくのかについて考察する。	・ 人間とは何か	・ 知識・技能 授業で課す問題における得点 (提出書類とMicrosoftFormsを用いる。) 調査の問題の素点 上記2点を用いる。 ・ 思考力・表現力・判断力 授業で課す問いにおける文章解答 (提出書類とMicrosoftFormsを用いる。) 調査で求める文章解答の素点 上記2点を用いる。 ・ 学びに向かう力 出席そのものを出席点として用いる。 出席時の授業中の取り組みも評価する。 (提出書類とMicrosoftFormsを用いる。)	○	○	○	6
	「哲学」の意味や「哲学すること」の意義について理解させる。 ギリシャにおける哲学の誕生、タレスに代表される自然哲学や、ソクラテスに代表される人間と社会の哲学について多面的・多角的に考察することを通じて、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索する。	・ 人間と哲学	同上	○	○	○	6
	人生における宗教の意義、宗教が人間や社会に与えた影響について、先哲の考え方や歴史的な事実を手がかりにして多面的・多角的に考察する。具体的には、古代ユダヤ思想、イエスの教え、キリスト教の成立と発展、イスラームの誕生と発展、古代インド思想、ブッダの教え、仏教の伝播について、歴史的背景をふまえて考察し、諸思想について多面的・多角的に考察する。	・ 宗教	同上	○	○	○	10
	諸子百家の代表的な思想について、歴史的背景をふまえて考察する。具体的には孔子・孟子・荀子・韓非子・朱子学・陽明学・老荘思想・道家の思想の特徴について多面的・多角的に考察する。	・ 中国思想	同上	○	○	○	4
	美とは何か、芸術とは何か、芸術作品と鑑賞者の関係について、芸術家の考え方や生き方、作品を手がかりにして多面的・多角的に考察する。芸術が人生や社会に与える影響はどのようなものかについて、多面的・多角的に考察する。	・ 芸術について	同上	○	○	○	4
	幸福な人生のあり方について多面的・多角的に考察する。 愛とは何かについて多面的・多角的に考察する。	・ 幸福とは何か ・ 愛とは何か	同上	○	○	○	4
	西洋近代思想の特徴である人間尊重の精神、社会契約説、カントの道徳法則に基づく考え方や認識論、ヘーゲルの世界観や国家論、自由論について多面的・多角的に考察する。	・ 西洋近代思想	同上	○	○	○	6

